



週報

糸魚川

2025.11.27
第3058例会
No.20

◆会 長 赤星賢二 ◆クラブ会報雑誌 長谷川淳一
◆例 会 場 ヒスイ王国館 糸魚川市大町1-7-11 TEL.025-553-1210
◆例 会 日 毎週木曜日 12:30～13:30
◆創 立 1960年9月10日 ◆承認 1960年10月12日
◆事 務 局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 TEL.025-552-1225
◆糸魚川RC HP <https://www.itoigawa-rc.jp/>
◆第2560地区HP <https://www.rid2560niigata.jp/>

●本日のプログラム●

- ・点 鐘
- ・四つのテスト
- ・会 歌 我らの生業
- ・会長挨拶
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- ・卓話
ゲスト卓話
株式会社リ・ボーン117
代表 樋口 大悟 様
- ・「ふるさとへ還る時
～相馬御風を訪ねて～」
- ・点 鐘

本日のお客様

株式会社リ・ボーン117 代表 樋口 大悟様

次回例会プログラム

◇12月4日(木)

imotion株式会社 代表取締役 山中 聡史様
「採用活動をブランディング」

出席報告

◆11月20日(木) 15名

◆中央RCコーナー

11月28日(金) 休会日

幹事報告

◇第6回定例理事会開催

日 時 11月27日(木) 13:40(例会終了後)～
会 場 ヒスイ王国館 姫川

◇親睦事業「忘年会」開催案内(例会兼ねる)

日 時 12月11日(木) 18:30～
会 場 膳処くろひめ
会 費 4,000円

※昼の例会はありません。

ニコニコ箱 11月20日 *****

赤星 賢二君 大きい行事を皆様に助けていただき、無事クリアさせていただいております。

土田様、本日は遠方よりありがとうございました。よろしくお願いします。

中濱 智君 結婚記念品ありがとうございました。本日の卓話、ロータリー財団委員の土田様よろしくお願いいたします。

佐藤 元春君 財団委員土田様、遠方よりお出でいただき大変ありがとうございました。いつも大変お世話になっております。今日もよろしくお願いします。

◆個人寄付 11月20日(4名 27,000円)

氏 名	スマイル	R財団	米山財団
土田 正憲 君	2,000		
赤星 賢二 君	1,000	1,000	1,000
佐藤 元春 君		2,000	
中濱 智 君		10,000	10,000
合 計	3,000	13,000	11,000

11月20日の卓話*****

ロータリー財団委員会 補助金委員会

委員 土田 正憲様

「ロータリー財団について」



本日はロータリー財団について、

1)ロータリー財団組織の仕組みの概要

2)補助金に関して

3)ポリオやロータリーカードの現況

の3つのお話をさせていただきます。

まず、ロータリー財団の組織の仕組みについてご説明いたします。ロータリー財団は、最上位にロータリー財団管理委員会(TRF)があり、その方針に基づいて、各地区には地区ロータリー財団委員会が置かれています。

さらに、この地区ロータリー財団委員会の中には、財団の各事業を効果的に推進するため、次の5つの小委員会が設置されています。

- ・補助金委員会
- ・奨学金・学友会・VTT委員会
- ・寄付・資金・ポリオプラス委員会
- ・平和フェロー委員会
- ・資金管理委員会

これらの小委員会がそれぞれ専門分野を担当し、地区内の財団活動が円滑に運営されるよう支えています。また、各クラブは地区に委員を輩出し、これら5つの小委員会のいずれかを担当することで、地区財団組織の一員として役割を果たしています。

このように、クラブ・地区・国際レベルが連携することで、ロータリー財団の活動が成り立っています。今年の地区財団委員会の方針としましては、次の4つを掲げています。

- ・ロータリー財団の使命を理解し、各クラブへの浸透を図る
- ・全クラブが地区補助金を活用できるように推進する
- ・全クラブがガバナーの地区財団目標数値を理解し達成できるように促す
- ・ポリオ根絶に向けて啓蒙活動を行い、理解を深める

続いて、補助金についてご説明いたします。ロータリアンの皆さまからお寄せいただいたご寄付は、まず、ロータリー財団へ入金され、3年間運用されます。

そして3年後、その運用を経た資金のうち5%が運用資金として充当され、残りの95%が

- ・地区財団活動資金(DDF)

- ・国際財団活動資金(WF: World Fund)

の2つに振り分けられます。

さらに、地区財団活動資金は、地区補助金(District Grant)とグローバル補助金(Global Grant)に配分され、それぞれ奉仕プロジェクト、職業研修チーム(VTT)、奨学金(地区奨学金・グローバル奨学金)などに活用されます。

このように、皆さまからの寄付は、計画的な運用と厳格な管理のもと、地域と国際社会の両方の奉仕活動へと還元されています。

次に、ポリオ根絶の現況についてお話しします。ポリオ根絶の目標達成は、いよいよあと一步のところまで来ています。ポリオ根絶は、35年以上にわたりロータリーが力を注ぎ続けている最も重要な国際奉仕活動のひとつです。

現在、ポリオの常在国(ウイルスが土着している国)はパキスタンとアフガニスタンの2か国のみとなりました。ポリオには治療法がありませんが、ワクチンによって確実に予防が可能です。

皆さまからいただくポリオプラス寄付は、

- ・ワクチンの購入
- ・接種のための運搬・配布
- ・発症者の監視・追跡調査
- ・予防活動に携わる現地スタッフの支援

などに大切に使われています。

さらに、この寄付にはビル&メリンダ・ゲイツ財団の2倍マッチング(2 for 1)が適用され、皆さまのご寄付は3倍となってポリオ撲滅活動に生かされます。

今年度は、特にこのポリオ根絶活動に力を入れており、数年前から地区大会の際にはポリオ関連のブースを設置し、啓蒙活動や寄付の呼びかけを行っております。今後は、各クラブにおいても募金活動や啓発活動の実施をご検討いただければ幸いです。皆さまの継続的なご支援が、ポリオ根絶という大きな目標達成に向けて大きな力となります。

最後に、ロータリーカードについてお話しします。皆さま、ロータリーカードはお持ちでしょうか。ロータリーカードはロータリアンだけが利用できるクレジットカードで、そのご利用金額の3%がロータリーへ送金され、ポリオ根絶のために役立てられます。申し込みはロータリーのホームページから簡単に行うことができ、ETCカードとしても利用可能ですので、日常の中で気軽にポリオ支援に貢献していただけます。

まだお持ちでない方は、ぜひこの機会にお申し込みをご検討ください。